

中野十中同窓会常任幹事会からのお知らせ

2018年（平成30年）5月18日

5月15日（月）18時から、中野十中閉校後最初の常任幹事会が中野区東部区民活動センターで開催された。常任幹事6名、オブザーバー1名が参加して、下記事項が報告、論議された。

★ テーマ1 2017年度決算と会計監査について

- 会計及び監査から会計報告・監査結果報告があり、決算が承認された。
支出は、校歌大合唱祭典の案内状発送、閉校関連（閉校記念誌とDVDの作成・発送）、ホームページ関連、母校のクラブ活動支援など。
- PTAからの預かり金も含めた繰越金は678,742円で、今後、ホームページの経費及び歌碑製作費に使用する。（会計報告は同窓会ホームページの事務局のページに掲載してある）

★ テーマ2 閉校後の状況、記念誌送付について

- 閉校記念誌は650通発送した。50通程度返送されたが、再調査して30通程度再発送した。
- 閉校記念誌、50周年・60周年記念誌は、各10部程度メモリアルコーナー用に別途保存する。
その他個人保管の資料でメモリアルコーナーに保存するようなものがあれば一緒に保管する。
- 閉校記念誌は150部程度残部があるので、希望者には送料自己負担で配布する。ホームページにお知らせを掲載する。
- 閉校記念誌は図書館などに置いてもらうように手配した

★ テーマ3 常任幹事会の開催とメールでの意見交換

- 今後、常任幹事会の開催は少なくなると考えられるので、必要に応じメールで情報・意見交換を行う。メールでの意見交換の範囲は原則として常任幹事会のメンバーとする。
テーマによってはオブザーバーもメールでの意見交換に加え、会議も参加できるようにする。

★ テーマ4 歌碑建設と今後の同窓会活動

- どのような歌碑（石製か金属製か？）を作成するのか、残っているお金で費用が間に合うか、除幕式を行うかなど様々な意見が出た。歌碑の設置は新しい校舎完成後でまだ間があるが、費用の概算などを調査することになった。
- 中野東中学校の開校式に同窓会役員が参加した。生徒数は321名、制服、校章・校歌も新しく、新しい学校が開校したと感じ、和やかな雰囲気だったと報告があった。
- 新しい学校とのコンタクトは今後の校歌碑設置等に向けて大事なので、近々同窓会長が校長にご挨拶に伺うことになった。

次回常任幹事会の開催時期

- 次回は今秋を目途に開催の予定。
会場は今回と同じ、中野区東部区民活動センターの予定。
- 次回から常任幹事からは会議への出欠連絡を求めるようにする。

以上